

令和6年度 函館市医療・介護連携多職種研修会～医療関係者向け～ アンケート集計結果

n=34 (回収率 91.9 %)

当日参加人数 37名

1. 所属機関をお聞かせください。

・函館市	29	(85.3%)
・北斗市	2	(5.9%)
・七飯町	3	(8.8%)
計	34	(100.0%)

2. 所属機関をお聞かせください。

・医療機関	22	(64.7%)
・介護機関	10	(29.4%)
・その他	2	(5.9%)
計	34	(100.0%)

3. 現在、従事されている職種をお聞かせください。

・医師	0	(0.0%)
・歯科医師	0	(0.0%)
・薬剤師	7	(20.6%)
・保健師	1	(2.9%)
・看護師	5	(14.7%)
・ケアマネジャー	6	(17.6%)
・相談員	9	(26.5%)
・介護職員	1	(2.9%)
・歯科衛生士	0	(0.0%)
・栄養士	0	(0.0%)
・リハビリスタッフ	4	(11.8%)
・柔道整復師	0	(0.0%)
・マッサージ師・鍼灸師	0	(0.0%)
・福祉用具関連	0	(0.0%)
・事務員	0	(0.0%)
・その他(社会福祉士)	1	(2.9%)
計	34	(100.0%)

4. 今回のテーマはいかがでしたか？

・よかった	34	(100.0%)
・どちらともいえない	0	(0.0%)
・よくなかった	0	(0.0%)
・無回答	0	(0.0%)
計	34	(100%)

【ご意見等】

【医療機関】

<薬剤師>

- ・施設の薬を調剤しているが、基本薬の配達のみで施設業務についてなんとなくしか理解できていなかったなので、勉強になりました。特に入院中の情報確認、連携で患者様希望、負担を減らす努力がよいと感じました。
- ・入所までの流れやサービスの形態など、今まで知る機会がありませんでした。大変貴重な時間となりました。
- ・施設ごとに対応できること、生活状況など薬局での対応だけでは見えないことが多いため興味深かったです。
- ・パネルディスカッションが良かったです。普段聞けない現場の声（希望）を聞くことができ勉強になりました。
- ・多職種の仕事内容が分かってよかったです。
- ・実際の現場での苦勞が聞きたい。

<看護師>

- ・施設での看取りが思った以上に多いという情報がわかり、このような機会があつて良かったと思います。医療と介護がわかり合う機会が多いと良いと思いました。
- ・地域の施設の実態を知ることができて良かった。在宅、自宅以外で生活される方の実際を見れて良かった。
- ・退院後の状況をあまり知る機会がなく、ある程度大まかに把握することができました。
- ・パネルディスカッションで具体的な連携方法が知れたのでよかったです。
- ・特養、サ高住で生活する様子が知れてよかったです。

<相談員>

- ・実際に病院からどのような情報が欲しいのか、IC同席希望するか等わかってよかったです。今後、情報共有の際に積極的にICに同席されるか等も確認したいと思いました。
- ・改めて施設の概要や生活の場での対応を知ることが出来た。院内の医師、看護師などにも聞いていただきたい内容でした。
- ・病院よりもずっとハイテク化が進んでいることに驚きました。今後も連携が図れるよう連絡を密に取りたいと思います。
- ・施設の状況がよくわかり、今後の連携につなげていきたいと思ました。
- ・施設の違いの理解が深まり良かったと思います。

<リハビリスタッフ>

- ・退院後の生活を見据えた各職種や家族、本人とのゴールのすり合わせは重要だと改めて感じた。リハビリを提供する際に、実際に居住している環境が事前にわかるとより訓練内容に動作練習が取り入れられるなど感じた。
- ・退院後関わりがないため、具体的なお話が聞けて想像の解像度が上がりました。とても良い機会となりました。
- ・改めて、サ高住の概要を知ることができよかったです。
- ・普段の疑問を解消することができて良かったです。

【介護事業所】

<保健師>

- ・サ高住、特養の内容が知れ、大変勉強になりました。

<ケアマネジャー>

- ・私も施設で働いていた経験がありますが、改めて施設の特徴やできること、できないことが何なのか勉強することができ、大変参考になりました。
- ・パネルディスカッションで退院時の必要な情報を詳しく聞くことができ参考になりました。

<相談員>

- ・種別の違う施設の方から詳細を伺えて勉強になりました。

5. 今後、どのような内容の研修会を希望されますか？

【具体的な内容等】

【医療機関】

<薬剤師>

- ・ 薬、服薬、薬局に対して希望、質問、気になっていることなど、介護機関の方の声を聞けるような研修会。
- ・ 精神患者における多職種連携を希望。現場での問題点がわかれば幸いです。
- ・ 多職種が連携の好事例(取り組みの紹介)。
- ・ 施設での服薬管理の方法、投与時の問題点など。

<看護師>

- ・ 病棟Nsをしています、他の方にもできれば施設がどのような情報を望んでいるのか、Nsとしてどういったことを発信したり、患者さんへ説明や教育を行えば、より良く連携を行えるかを理解できるような研修を今後行ってほしいと思いました。
- ・ 同じ内容で他施設のお話を聞きたいです。
- ・ 在宅でのACPIについて。

<相談員>

- ・ グループワーク。(医療側からの今日のようなパネルディスカッションを含めて)
特に医師会病院のような2次救急(急性期)もしくは、地域包括ケアのようなやや急性期から脱した方についての退院調整の事例について。事例提供していただければありがたいです。(今後退院調整の学びとさせていたただきたいため)
- ・ 実際の困った事例、その困った点をどうすれば改善できるのかを一緒に考える場などあれば勉強になります。
- ・ 病院から退院した方の在宅生活の現状や病院からの提案などがどのくらい有用かなどについて。

<リハビリスタッフ>

- ・ 介護度の低い方のサ高住、施設の概要。

【介護事業所】

<保健師>

- ・ 七飯消防の方に講師をお願いし、救急搬送時の留意点などご講義いただければと思います。

<ケアマネジャー>

- ・ 在宅酸素使用している方の退院後のフォローについて、受け入れ施設について等。若年(65歳以下)の進行性の病気やがん等での在宅、病院との連携。

<相談員>

- ・ その他の種別の施設から本日のようなお話を伺ってみたいです。

<介護職員>

- ・ 認知症や精神状態等何かあれば参加したい。海外技能実習生と仕事等して、大変なことや課題がありましたら聞きたいです。レクリエーションにも興味があります。

6. 講師への質問がございましたら、お書き下さい。

【医療機関】

<薬剤師>

- ・ 勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 様々な職種の意見を聞いてみたいです。

<看護師>

- ・ この度は貴重なお話をしてくださりありがとうございました。
- ・ もっと病棟Nsが参加できるような研修(日時・内容も含めて)。
- ・ いつも研修お疲れ様です。

<相談員>

- ・ 最近癌でストーマの方が多いため、ストーマやインスリンなどの対応は可能ですか？